



明治政史資料

西南戰事  
警報錄

U5  
5876



U 5  
5876

明治十五年三月一日  
中島謙吉氏

第一号

内務省

山口縣



トクマツノボウドサンジウヨメイコンキヤ  
ウダツサウドウククシガハマヨリクヲマイ  
ヲウバヒフ子ニテシモスジエムケシユツ  
ハンセシトカノ千ヨリホウセリ

十月三十日午後十一時三十五分發

内務者

岡山

トクヤマノ、ホウト、サレジウ、ヨメイ、コキョウ、  
ウ、タツソウ、ドヲク、クシガハマ、ヨリ、クラマイ、  
ヲ、ウバイ、フ子ニソウ、ニテ、シモスジへ、ムケ、  
シツパン、セシト、ヤマクチ、ケシヨリ、サクヤ、  
ホウセリト、イマヒロシマ、ケシ、ヨリ、テシホウ、  
アリ、

十月三十一日午後一時三十分迄

内務卿

山口縣

ハギダツソウノロ　ヅク。スサヨリ。フ子。サンジツ  
ソウ。ホトニノリ。ハマダヘムケ。ミツバンス。イノ  
コリノモノヘ。ウシユウヘ。アツマルベシト。モウ  
シヲク。ナヲアツマリ。シガイ。ハツスル。モヨヲアリ。ホ  
ウチマリ。

十月廿一日午後五時十分發

内務省御中

岡山縣

ハギ、センサウ、サクヤ、カンガン、ミヤウ  
 リ、バク、ヒキシリゾク、コノヨシ、ヤマガ  
 子ヨリ、デニボウアリ、子ノタメ、シラス  
 ト、ヒロシマ、ヨリ、ホウチアリ、

十一月二日午前十時四分癸

島縣令

祝展

岡部經元

廿イエクドウヨウのニツキのクワンダイ  
 のトリシマリカタのスミヤカニのチヤクシ  
 セリのクワンカのスベテのヘイオンナリの  
 アキタのアラモリのエモタンテイラのイダ  
 セリのイマダのソノホウチナシのニギイト  
 ケンニツキのミヤキのアラモリハタガイ  
 ニのデンポウアレドモイヂヤウのモウ

アレ、ケイオウ、キヨクエモ、ゴウウジ、アリタシ、  
 内務省



シキタラズノサダメテブジナルベジノアキ  
タモのイマワのドウヨウスルジンブツ  
ナキカトヲモワルのナライヘンアバ  
ス  
ミヤカニホウズベシ

中三十二号

内務卿宛

熊本

林 サ輔

フクヲカ、クルメノ、シヅク、ボウハツノキヤシ、  
アルトノコトワ、ソクジウメイオド、ボウハツロンチ、  
シチヨウセシ、セツアルモ、モハヤ、イキヲヒ、クジケ  
タリ、ヨウテ、トウキヨウ、ジンサワ、ナガサキエ、  
ユク、アキツキノ、ボウトワ、ライライ、ゴウ  
フク、サント、ジウニサンメイニ、ナリシト、カゴ  
シマヨリワ、ケイフ、コノチエキタル、キクニ、タツ  
ワク、タンサクニ、チウイ、カンナイ、イタツテ、  
フジナリト、ヲウイタモ、ドウヨウ、ゴアンシ、  
アレ、ケイオウ、キヨクエモ、ゴウウジ、アリタシ、

十二月七日午前十一時三十五分發

卯三十九号

内務卿殿

長崎縣令

トウ午ニ、ヘイナリ、マタ、ダレカニモナシ、キヨリ  
ウケト、スイノウリヨウノ、ホウゴニ、ケ子シ、アリ、  
カワ、グ、ハイコリ、コウサイシヨウニ、ツキテモ、  
サダヤカ、ナラズ、モシ、コト、アラバ、ワカセイフ、ノ、  
シユツ、タイ、ナラシ、ジユシ、フリヲカ、フレエイヲ、  
ナカサキヘ、ヲウツシ、アリタシ、シキウ、シレイ  
ヲ、マツ、

十一月一日午前十時十五分發



度島

國分少齋親

川初大齋親

秋ノ攻撃手ハ今日ニ峯ナリ其サ齋親ヨリ  
舟廻ラハ度島へ為置ベシ指圖ナシニ  
動クベカラズ  
ナリト云々後カフ時ナシ

内務

オニキニシキ

内務省

山口縣令

ニウラ、シヨウセウ、トダンス、ジユンサニ  
ヒヤクメイノホカサンビヤリニシナラ  
ヲンサシコレタノム

十一月一日午時五十分

内務省

警務部

弟三十二号

内務省

広島縣

ケンカ ウリウコウ ニテ ヨコヤマ シラ  
イヲ バクセシハ スグル ヨツカノ コト  
ナリ

十二月七日午前十一時十五分発

松田

内務省

内務省

宵号解訳

内務卿

長崎縣令

サガシゾク、ヲヨソ、ロクシウニシホド、ヤマクキノ、ゾ  
クニドライシテ、ヘイラアゲントスル、キガシアルム  
子、シテヨウヨリ、ホウチ、アルユエ、ケイシチヤウ  
ノ、シユンサヲ、イダシ、ミヨウニチ、ホバクノ、テ  
ハヅラ、ナシタリ

土月八日午後七時五十分發

ア	ワ	サ	メ	ナ	ネ	マ	セ	ル	エ
イ	ロ	シ	ム	ニ	ヌ	ミ	ス	レ	ウ
ウ	レ	ス	ミ	ヌ	ニ	ム	シ	ロ	イ
エ	ル	セ	マ	ネ	ナ	メ	サ	ワ	ア
ヲ	リ	ソ	ホ	ノ	ト	モ	コ	ン	ン
カ	ラ	タ	ヘ	ハ	テ	ヤ	ケ		
キ	ヨ	チ	フ	ヒ	ツ	ユ	ク		
ク	ユ	ツ	ヒ	フ	チ	ヨ	キ		
ケ	ヤ	テ	ハ	ヘ	タ	ラ	カ		
コ	モ	ト	ノ	ホ	ソ	リ	ヲ		

内務省

内務省

内務省

島根縣

ケシカヘ、フ子ニノリ、夕子イリタル、ボクノ  
 内子、イツモ、ウリウミ、ナトニテ、サク子ツ  
 ヨコヤマトシヒコ、シウイ、リンサウヲ、ホバクセ  
 リ、ウノホカ、ウマキ、モク、マエバラ、イツセイ、ヤ  
 マタ、エイタロウ、サセ、イツセイ、ヲクタイラ、ケ  
 レスケハ、ホバク、テクバリ、子ウナリ、ヘキキハ、ピ  
 ストウル、ニテウ、カタナ、ニ子ホシ、モクヨルヨ  
 シ、イマダ、テニイラズ、コノム子、セイイシヘ、ヲ  
 トトケ、アリタシ、

土月六日午後十一時廿五分 廣島発

内務省

島根縣

イツカノヨケニカノイヅモウリウミナト  
ニテゾクマエバラヲクダイラサセ  
マキノヤマダノホバクセリコノスエノゴシヨ  
チノシホウセイヘウチアハセサシズアリ  
タシ

十一月九日午前十時二十五分發





オノ年ニ号

内務省

岡山縣

サクジツヨリ、ハギ千ニテ、センソウ、モツトモ、  
ハナハタシ、クワンゲン、イチジ、シリゾク、ハクボ、  
マタ、ススム、サクヤノ、ホウクワ、ナヲサカンナリ、  
カンゲン、シシヤウ、ヲホヨソ、サンジウ、メイ、ケ  
ンレイ、ブシニ、キチヨウ、キヨクワイ、サンメイ、  
ホバクノ、ヲモムキ、ヤ、メ、グチ、シユツ、チヨウ、トウ  
ケン、ケイブ、ヨリ、テン、ホウセリ。

十一月一日午前十一時一分

内務省

島根縣

クマモトケン、ヤマダケチケン、ボウドウニ、ツギ、  
 ケンカノヨウス、サクジツ、トドケノ、ノチ、ハ  
 マタ、シテウヨリ、ホウチマリ、ヤマクチケンカ、  
 ハギノボウト、サンジウニチ、ケコカイ、ヒノ  
 ウラニ、イタリ、カゼラマチ、ハマダ、マツエ、トツ  
 トリヲ、サシテ、ウウカウノ、ツモリニテ、シユツパン  
 ノヨシ、ヨリテ、ヒロシマ、チンタイエ、ウノム子、ホ  
 ウチセリ、

十一月四日午後七時癸

内務卿

從筆本

林少輔

フクヲカ、ツルメ、シヅク、ボウハツノ、キガ  
 シ、アルニ、ツキ、ナガサキ、マワシノ、シユ  
 井、ゴシウメイヲモ、フクヲカへ、ヲキタクム子  
 ドヲケニヨリ、マタ、モウシキタル、ナガサキハ  
 ケイビトシテ、ヘイロツ、イツウタイ、コノチ  
 ヨリ、三ヨウ午ヨウ、マウスハツ、ニツキ、三ギノ、ゴ  
 シウメイハ、フクヲカへ、トメラキ、コノチへ、マ  
 ワル、ゴシウメイ、ナヤクノウエ、ヨウスニヨリ、  
 シヨチスベク、シキウ、ヲマワシ、アリタイ、へ  
 ンシヲマツ

十一月四日午後十時廿分發

第二千号

内務省

廣島縣

トウシヨ、チンダイ、ヘイ、ニクウタイ、タダイマ、  
セキシウ、ツワノエ、ムケ、シユツキヨウ、トウケン、  
カンイン、サンマイ、ケイブイ、チノマイ、ジユンサ、シ  
ウゴメイ、ツキシソヘ、シユツキヨウ、モウレツクヨツ  
テ、ホウチス。

十一月三日午後十二時四十分發

九月十日廿八日午は六時十分也

然本局

然名号

ホウドウノスエザンブクヲイヲイ

バクニツクキヨカイハヲヲクニセリ

ヨツテケニカジンシニヤヤヲサマル

別紙山口縣令関口隆吉ヨリ、電信暗号ニ付  
取直シ其他史官ヨリ、別紙一綴共併而指上  
申候以上

十月廿八日夕七時

正臣

少輔公

閣下

内務卿

山口縣令

ハギ タツソウノ ゴク スサヨリ レユツセンセシモノ  
 サンジウ イキニキ ハギエカヘリレヨレノ ホウアリ  
 ラモウニ アツカヒレヨラ ラソイレハ サントウノミ  
 ナラサルベレ コシニキ レングシノ モヨウ カクホウ  
 シエテ レラスベシ

十一月二日午後三時五十五分發

内務卿

山口縣令

イチシツハ、ワガヘイキ、マスマス、サカシ。  
 ワレ、ヲホヤニ、マリ、ゾク、ニゴリブチニ、アリ  
 クワンランバシヲ、ウシロニシテ、タタカウ、ゾ  
 ク。ダニヤク、トボシキラ、モウテ、タヤス  
 ク。ホウハツセス、ゴジスギ、ワレ、アラテ、  
 イツチウタイ、チヤクス、ハサキ、イヨイヨ  
 フル。

十一月二日午後一時三十分發



内務省

島根縣

ゴクト、タニンズ、ケンカへ、タキイリタリト、  
 ヲイヲイ、カクフケンヨリ、ホウチアレトモ、  
 タニンズ、タキイリタルコト、イマダ、ホウ  
 チナシ、イツモ、ウリウミ、ナトへ、タキ  
 イリタルハ、ベツポウノトヲリ、ゲンチウ、  
 ツウサク、チウニツキ、ヲツテ、ヲト、ケス  
 ベシ、

十一月六日午後十一時三十五分廣島發

松田

内務省

福岡縣令

フクオカ、レゾクラ、ボウキヨノ、キサシハ、ハギ  
ノ、ゾクセイ、オトロウ、カツ、ケイシケヨウ、  
キタルトウニテ、サクジツヨリ、シツマル、クルメ  
モ、ヨナジ、ジユニサ、ゴジユウニシハ、ナカサキ  
エ、マハル

十一月六日午前九時十五分出

内務省

山口縣

コシキヤウ、ロクシ、ハギニ、ウキイリ、カイ  
リク、ハサミ、ウキ、ゾクト、タチマキ、ウイ  
ヘ、アトカタナシ、ナラ、ソウサクニ、キユウイヌ、

土月六日午後七時三十分發

第三千六百号

内務省

山口縣令

コニニ千ノ、タタカイ、キノフニカワラス、カン  
ヘイ、シシヤウナシ、ヲヲサカ、チンダイ、ヘイ、  
ニ千ウタイ、コンヤ、マテグチニ、チヤクス、ヘイ、  
キフルウ、

十一月三日午後七時三十分發

列侯のし通 山口縣令 兼 福岡縣令  
電報ありしは 及し通 也

九年十一月

大久保内務卿

前島内務少輔殿

此より大井権太郎 岡山縣令より電報あり  
係り通す也

内務卿

林少輔

從熊本

廿ガ、コトハ、イキヲイ、スコシ、クシケ、トウ  
 キヨウ、ジエンサモ、マワルハツニツキ、シユウヘイ、三  
 アワセルト、ワダナベサニシヨリ、タダイマ、ホウチア  
 リ、ムラダダイシヨウ、ケサヨリ、廿ガニユク、  
 十一月八日午後五時五分發

大久保内務卿殿

小倉 林内務少輔

クニモトノコトハコノチニテハシカトワカラズ  
 ヲヲヤニシヨウシヨウハスグニグンカンニテ  
 ヒコニヲモムクアツヅキシヅクハトヨツシ  
 ズクニガツセントシテナラスタイヘイニウタ  
 レサンランセリヤニクキケンマエバラヨコヤニ  
 ハジメヒヤクメイセキシウサカイヲガワエム  
 ケゴジウメイハスサヘダツサウセリトヨツテミ  
 ウラシヨウシヨウハスグニヒロシニヨモムクシ  
 マ子ヲカヤニヒロシニヒヨウゴケンヘケイサツイツ  
 サウチユウイノコトコノチヨリタツスナヲイサ

イハアトヨリホウチスヘシ

十月三十日午後七時二十五分発

第三七号

内務卿宛

福岡縣令

ジユンサ、クマモトへ、マウスベキム子、シヨウウチ、  
シカルニ、アキヅキ、サンゾク、サリキヨウ、  
ヤマヨリイテ、アキヅキヲ、ヲソイ、カシイシ、  
ジユンサへイシシラ、ジウヨメイ、シス、  
イ、シシゲキ、スレバ、マタヤマニカクル、  
ゴロクリニワタル、タイザンニテ、シユツボツス、  
テクバリ、ジユンサ、タラス、ヨツテ、ナカサキユキ  
ノ、<sup>ズ</sup>ントモ、ノコラズ、クバリメシトリタシ、  
ム子、ハヤシ、シヨウウチニ、シヨウカイシ、  
モトハハ、ベツニ、ヲサシタテ、アリタシ、



十一月三日午後八時三十五分發

ネンダイヘイ サクシツ アマキヘシツダギ ヅクスデニ ノカレシ  
アキツキノウラヤマヨコエ トヨツノホウヘユク アキツキニテ ヅク  
シゴシシ ホバクス バクヲヨクマキニテ ジエンガイキイトライ コロス  
ヅク ミエン トヨツヘキタリ ウナガセトモ ヲヲゼズ ツイニユスハラニ  
トシユウセリ フクラタイヘイハ カハルグキト キヨウジトニ ハンダイ  
タイラ イダス フノヨウス ナレバ キンタイ キカキニ アウン コノホカ  
コレイナシ イサイハ ヌウビシ

福田録

田務省

既中

十月廿九日午後三時發

同日午後二時發六分 田務省着

サウジツハギ。シウゴウノホウト。サクヤ。カイサ  
ンノレイヲツタエシニ。スルドクホウズルトイ  
ヒ。ドウタイクノ。コウキンヲ。マサムキトリ。ヘエ  
キヲタヅサエ。フンキヨウ。タツツウス。カナラズ  
セキシウクチナラント。ケニレイテサキヨリホ  
ウス。マタ。キウトクヤモノシヅク。ゴロクジウソ  
イ。ドウクヤマダムラノ。ケイサツシユツチヨウ  
ジヨラ。ハツトウニテカコミ。トウシヨコメクラ  
ラ。フウジ。シヨウクマツカイジヨラ。ホウカス。  
タダイマ。ドウチヨリホウス。ゴノダンシヨウシ  
ンス。

山口島

内務省

十月廿九年午後三時五十分受

ユスハラ。トンシユウ。ノゾク。サクジツ。  
トヨツニ。イデ。セマル。ゴゴ。ヨジ。サンジ  
ツ。ブン。ダイヘイ。コレヲ。ウツ。シチジ。  
ゴロ。ヅク。タイサン。コンチヨウ。ツイゲ  
キ。スル。ハツ。ノ。ムネ。コクラ。ヨリ。ホウ  
チ。マリ。ゴノホカ。イデ。フ。ナシ

福岡縣

十月廿九日午後三時廿五分  
内務省

内務省

十月三十日午後十時三十分福岡

発

三月十日午後十一時廿四分達  
西郷中尉宛  
福岡  
小澤大佐

昨今戦烈シク終ニ今日午後六時頃田原  
板ヨリ少し背後ノ堡塁ヲ攻メ板ヲ是レ  
ヨリ速カニ植本ヲ取ルニ都合ヨク多ク分  
別日ハ熊本城ト連絡ヲ取ルベシト川村  
参軍ヨリ報知アリ

○今日ハ九時頃ニナリナレシ



發視句

西京

大發視

昨日、我官軍大勝利生捕アリ  
西郷、相破、徳原、巨魁ナリ  
三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

目

一、卯、我賊六名生捕、此、今、有  
之、卯、之、湯、之、追、捕、賊、之、敗、走  
日時表



三日一日午前二時

岩倉右大臣殿

三條右政大臣

一昨廿七日午前賊ハガマ河向ニ出ツ官  
 軍<sup>エキカ</sup>川トイニ據リ戦争賊川上ヨリ横ヲ  
 撃ツ官軍新<sup>カ</sup>多ニテ進撃遂ニ川向へ返  
 返ス城山ニ據ル官軍船橋打ヲ引揚ク  
 右佐突支應報告ト只今大坂ヲ中越ス  
 是刻ノ各トおぼはスハ級内案ニアルヘシ

三月一日午時十時三十五分

岩倉右大臣 三條太政大臣

今朝大久保ヨリ左ノ報知アリ

昨日午後十一時迄キ久百米支

勝ハ電報たノ通

昨朝六時以賊高瀬ニ来ル友軍

進撃ス城寺田ニ引キ高瀬ハ子キ

少シ焼ル本日午前六時以箱田

村渡し場番兵ニ賊ヨリ砲散友

軍大砲三十發打ツ賊三十余名



大正  
官  
報  
外戦多しと南ノ開ヨリ報  
知アリ

二月廿七日午後十時四十分

大久保家後

取次均今般午あり之時は久留未あり  
友し報あり。近衛兵業内當北巡查  
昨午及此時に漸く大久保兵ハ高津  
あり陣ス高津に賊見ハガルニツキ。巡查ト  
共ニ進ム。彼我ノ巡邏兵出令ヒ戦端ヲ開  
キ。戦争ス。数合戦ヒ官軍死傷アレトモ  
終ニ加ワシモニ退詰ノ此時賊ノ死傷多

大或ハ其力

千由即死二十三人午後の時休、高瀬  
の内賊ナシト、熊本ノ戦ニ日ノヨシ賊ハ  
肥後士族多シト、南ノ関ヲリ報知ナリ、

二月廿七日午後三時四十分電

安藤中教言視 長峯 三間権ヲ教言視

廿六日午後七時十分南ノ関ヨリハ本氏ノ  
報左ニハ本ハ警視局ヨリ

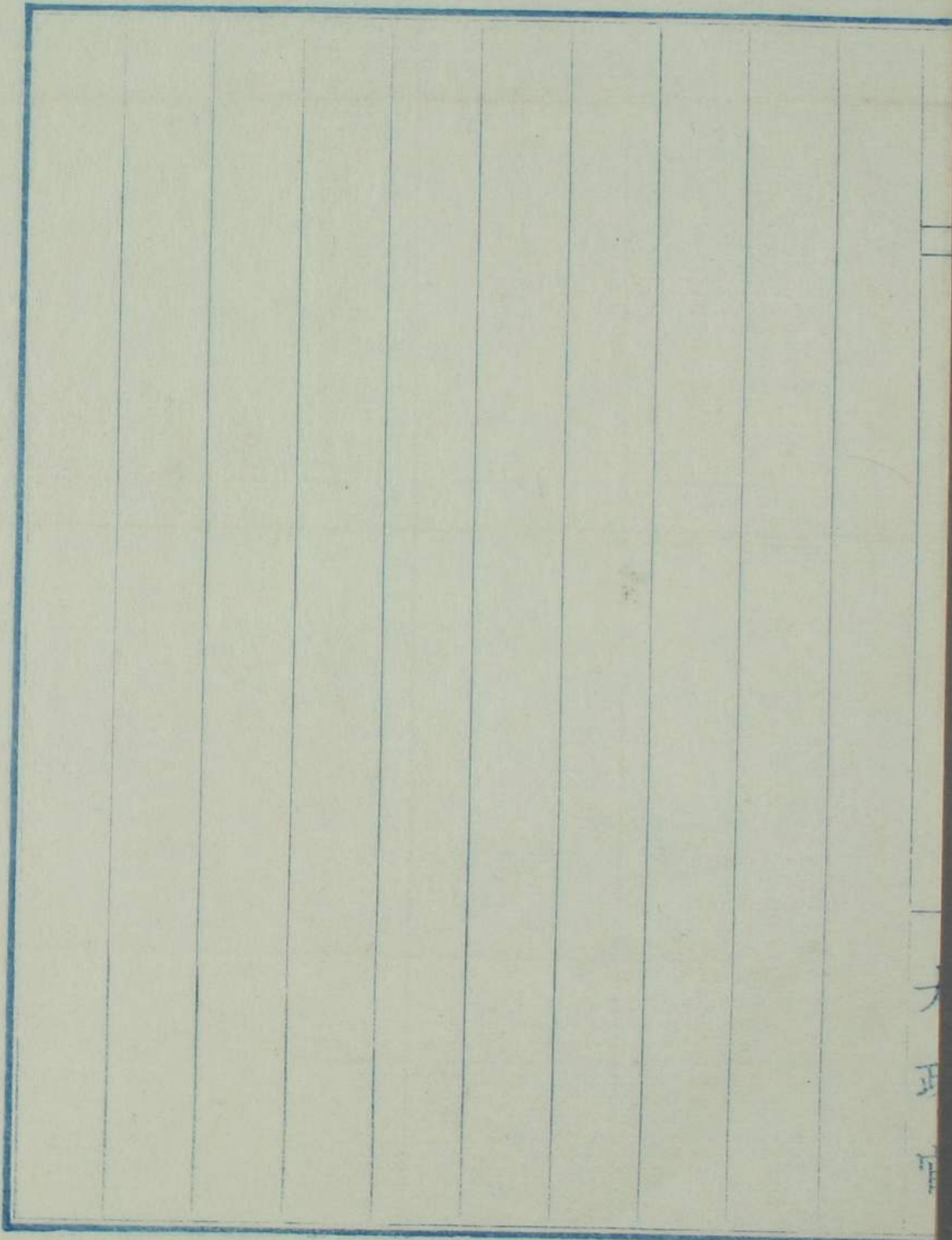
今日午前九時ヨリ高瀬川内フミケ  
所ニテ戦フ官軍大勝利、明日  
進撃ノ筈委細ハ明日

仙傳館館長ヨリ電報

鶴ヶ島之族 暴挙 顕然 牙直ニ出  
兵ノ儀 凶形 懸ヨリ 只々 請求 有之 依  
テ 明日ヨリ 又ニ 中隊 隊 繰出 且 此後  
ノ 形勢ニ 依リ 防衛 要否スハ 明白 海  
上レ 兵 時 義 儀モ 抑 隊ニ 依リ 出 港 致  
シ 可 無 我 隊ノ 凶 形 釋シ 乞フ 但ニ 大  
沼 少 兵 明 日 迄 也 出 港 ノ 旨

二月廿六日 午 和 三 時 分 爲 以 寸

六 文 書



山形参軍ヨリ電報

高瀬口今朝賊襲撃最早掃蕩シタ  
トモ何分手廣ノ場所ナルヲ以テ出兵ヲ  
乞ヒ来レリ依テ当地モ兵ヲ操出セシ故御  
地ノ兵ヲ早ク操出アリタシ猶今日戦地  
ノ景況ハ福寄少尉ヨリ御聞取アルベシト  
野津少将ヨリ通知アリタリ

二月廿八日午前十二時五十分福富

本管發下

昨日戦に無し官軍士氣甚々盛なり  
大山少将并別働隊不残今夜ヨリ到  
着ス

三月一日午台の付中分達

渡辺中佐 堀川大佐

大  
友  
宮

大  
理  
官

二月廿八日午后四時十分

岩倉右大臣殿

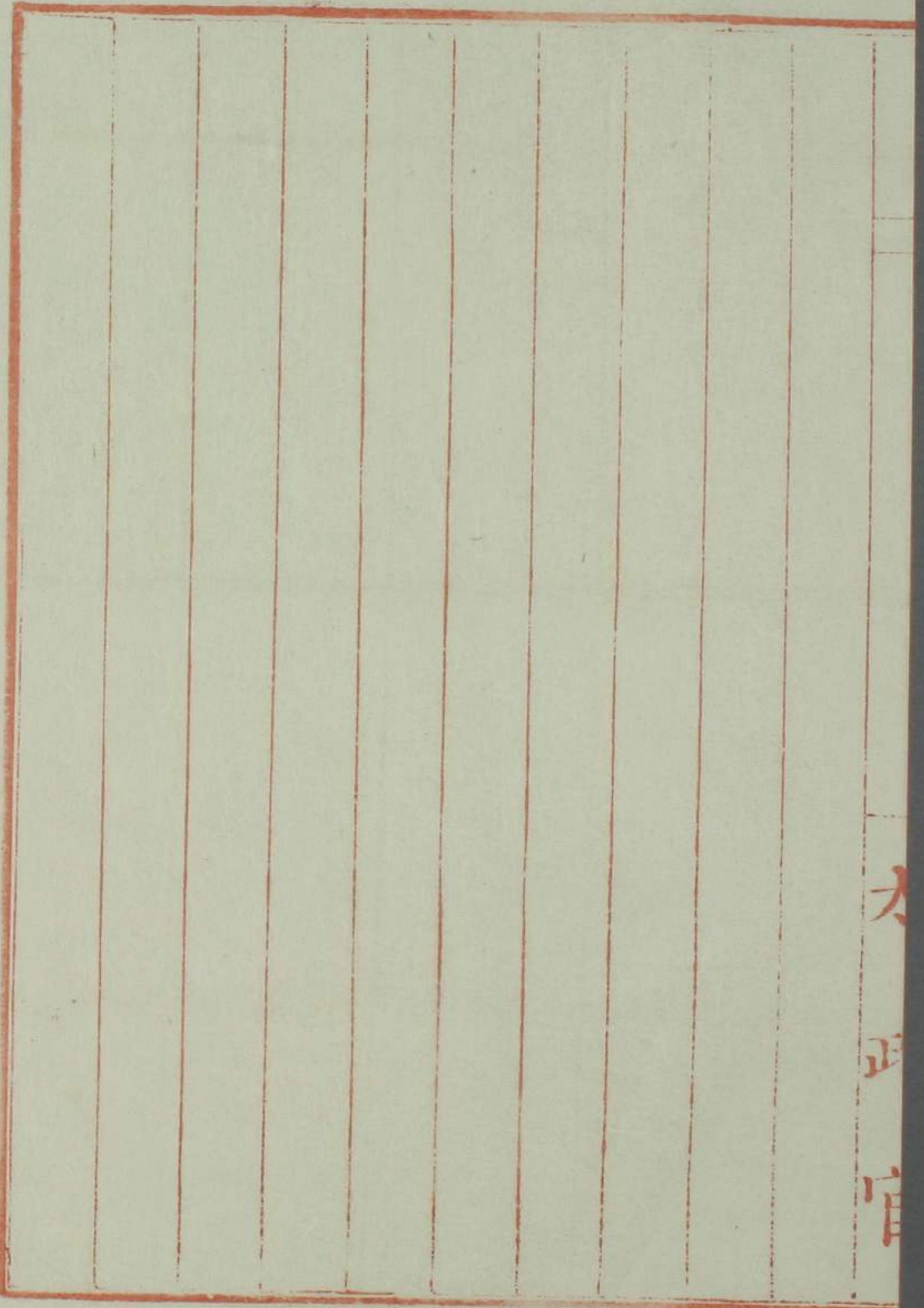
黒田春義

其地出陣以來三浦少將三大隊總督三大隊大山  
直ニ三大隊ヲ引テ出陣都合十七大隊半ト三砲  
座ナリ兵隊ハ十分ニ揃ヒタリ下官ハ勅使警衛  
縣令官位剥奪警部以下受テ取り岩榭所處  
分等委任今日出陣御懸念被下馬致ハ

二月廿八日午後五時十五分発

太政官書記官宛 行在所書記官

大久保参議并書記官以下大坂今橋通  
リ二丁目八中喜助方へ伊藤参議ハ北濱  
丁一丁目加賀井方へ旅館ヲ定メタル旨  
報知アリ



二月廿八日午後七時廿分

岩倉右大臣殿 三條太政大臣

黒田参謀勅使護衛之海軍并、巡查、指揮及  
製造所處分等之事ヲ御委任ニテ廣見島へ遣  
ハサレ明日午後四時勅使一同神戸出立、  
此段報知ス

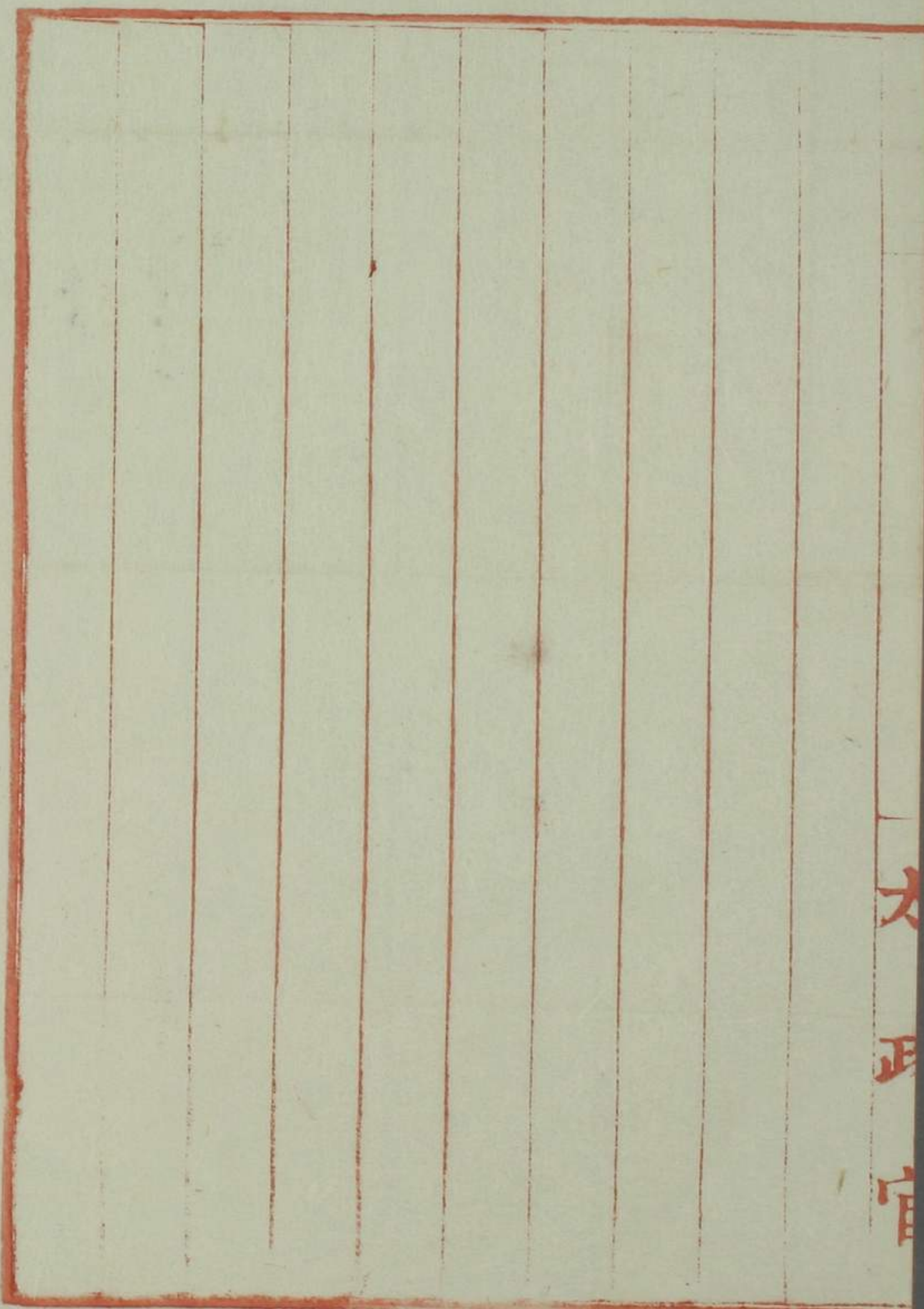


二月廿八日午後一時四十五分

岩倉右大臣殿

三條右大臣

陸軍海軍ノ事務懸門ノ事 京坂懸ケ隔リテハ  
不都合故今日ヨリ大阪へ出張所ヲ設ケ木戸孝  
允大久保参議伊藤参議書記官二名出張時々  
京都ニ往来ス此殿報知ス



三月一日午前十二時二十五分

岩倉右大臣殿

三條太政大臣

本日午前官軍進撃高瀬川ヲ隔テ大砲ヲ放ツ  
賊恐レテ敗走ス委細ハ跡ヨリト南ノ関ヨリ報知  
ノ趣只今久苗米支廳ヨリ報知アリ





明治十年送達紙

技術	局	着	第	局	第	發	報	スベテ電信ヲ頼ルモノハ通信規則ノ通り心得ベキ事
大藏省電信令局	二月廿六日	三	三	三	三	三	三	

技術

届

出

シヨウケ  
カタガタ  
ソノゴ  
コレマデ  
ノギ  
モトヨリ  
ンテルヘメニ

シヨウケ  
ツゴウヨ  
カワル  
ゴデン  
シヨウケ  
ミモムコ  
クベ

シヨウケ  
シヨウケ  
シヨウケ  
シヨウケ  
シヨウケ  
シヨウケ  
シヨウケ

シヨウケ

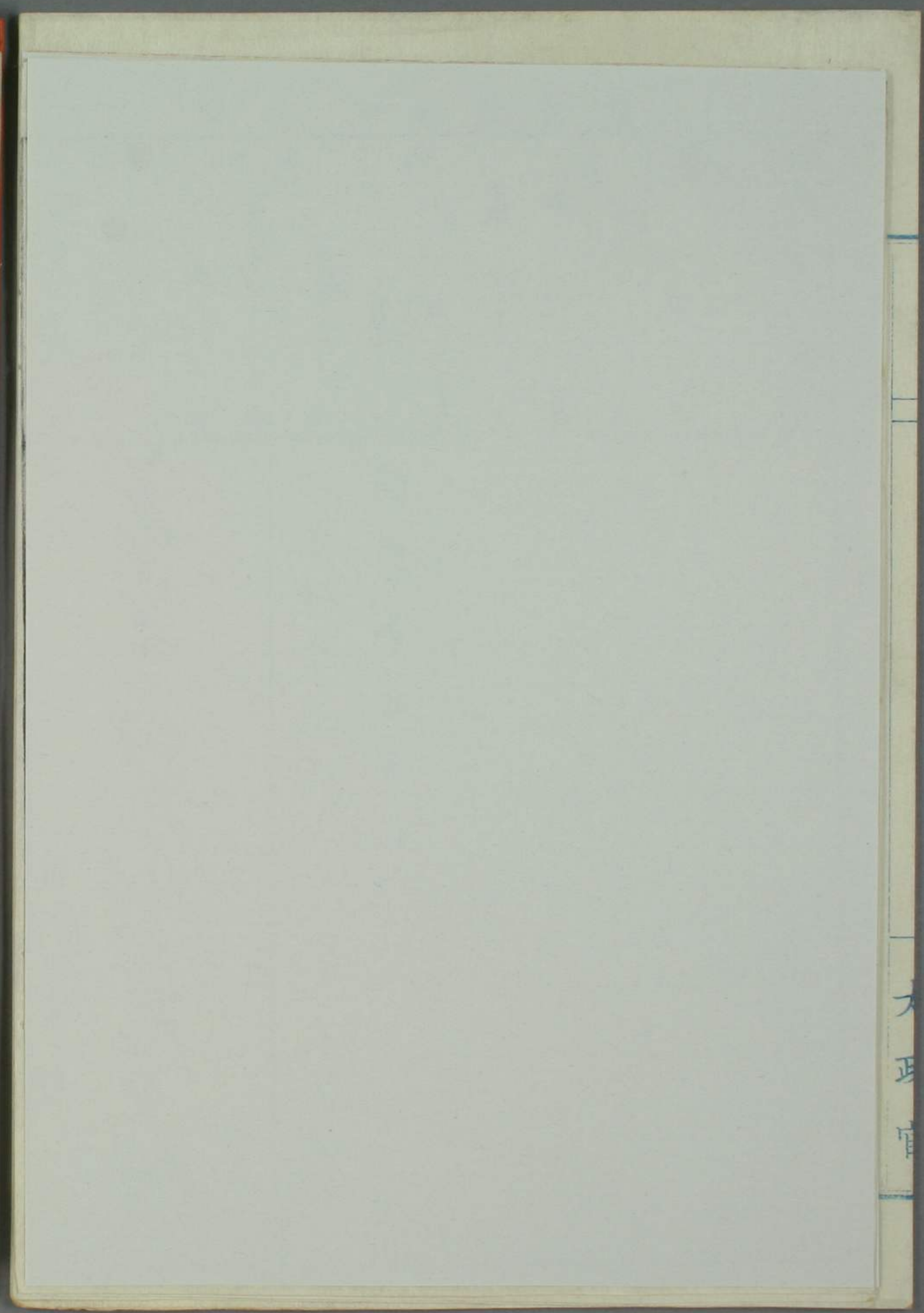


明治 年 送 達 紙

技術 係	局	着	第	第	午	二	山	第	報	スベテ電信ヲ頼ル ルモハ通信規則ノ 通り心得ベキ事

送達紙  
 二月九日  
 大藏省電信局  
 山形局  
 午後五時五分  
 第一報  
 山形局  
 第一報

山形局  
 第一報  
 山形局  
 第一報



明治 年 送 達 紙

技術	局	着	第	第	午	時	月	日	局	第	報	スベテ電信ヲ頼ミ出ルモノハ通信規則ノ通り心得ベキ事

大藏省電信分局

モサエユクムシリエウレ  
ムコクハエモバダヘタ  
キヤムシコトニムシ  
シロイヘリモコ子ナナ  
アバンシツトコク又ニ  
コモハタヤケハコ  
ムロイハロイラカロイ  
キ、ムクムシカラメサ  
クキバヨキウナサ  
ルエハサキバラカ

其二

届

出



明治 送達紙

スベテ電信ヲ頼ミ出ルモノハ通信規則ノ通り心得ベク事

技術	局	着	第	第	第	第	第
13	三月	大藏省電信分局	2	1	1	1	1
	日	號	字	分	日	局	報

局 届  
電報

シユニサ オモウ ミモマヘ  
 ブキヨカ ナラビン クワレグン  
 ダイシヤウリノ デレポウマウ  
 4 トウ4ソノゴ マツカワル  
 コトヤモ クマテカヨバン  
 トヌ ソモレヘ ヤモヨヒ  
 コケン子ニ クダサルナ

出  
電報  
送達紙











明治 年 送 達 試

技術	局	着	局	發	第	報
	第	第	第	第		
	月	時	月	日		
日	局	號	字	分	日	局

スベテ電信ヲ頼ミ出  
ルモノハ通信規則ノ  
通り心得ベキ事

大藏省電信分局

カモラモカ  
マツヤコ  
テモカ  
ヤモカ  
マツヤコ  
サボリ  
フマ  
ケ  
ヤ  
コ

其  
ら  
と

出





明治 年送達紙

スベテ電信ヲ頼ミ出  
ルモノハ通信規則  
通り心得ベク事

技術 局	着	年局	發
第 二	第 九	第 一	第 一
局	字	日	報
三月二日	大藏省電信分局	三月二日	第一號

サカモト  
ゴンヒヤウ  
セツエニ  
ツカワ  
ケクワ  
カハ  
マツ  
イヘニ  
サカ  
ヲモク  
ヤリ  
モウ  
モウ  
ベ

松田  
為山

出  
三  
私  
為  
山

明治十年送達紙

スベテ電信ノ類ニ  
ルモノハ通信規則ノ  
通り心得ベシ事

本

報

發

第七千九百

號

三月廿二日

局

局

午後七時

字號

第 一 號

着

局

三月廿一日

技術

信局

あふの神屋をみる保つ

出

クヤクシハ バンモ ツゴ  
ウヨクク カブモマノ シヨ  
ブンニ 4ヤクシエ シタ  
リト おウヤアリ イサイ  
エウロシ

明治 年送達紙

スベテ電信ノ類ニ出ルモノハ通信規則ノ通り心得ベク事

技術 局	第 一 號	年 局	第 一 號	局 發
三月十日	三月十日	午三時三十分	三月十日	三月十日
日	日	分	日	日

前島カ務少神後  
 方久保御

キナモ  
 フニ  
 カウチ  
 ニツキ  
 ソレソレ  
 コレアリタルコトトゾニス  
 子ニノタメトイワセモエマダナ  
 バスミヤカニサシタサルベシ

明治十年送達紙

スベテ電信ヲ頼ミ出ルモノハ通信規則ノ通り心得ベク事

發

第 七 十 一 號

三月十日

午後三時三十分

第 一 一 一 號

着

局

三月十日

技術あり

内務省  
松方正義大臣  
新島義典  
大臣官署  
出

ヨコハマニテノ  
カアル  
ヨフ  
ロウレンゴウ  
ツミコ  
グンキハ  
ステ  
チヤリシモ  
シタレバ  
グシ  
パイニ  
ヨ  
バツ

紙 達 送 年 治 明

技術 握 第 六 號	局 着 第 六 號	局 發 第 一 號	午 三 時 五 分	仙 臺 局	報	スベテ電信ヲ頼 ルモノハ通信規則 通り心得ベキ事
------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-------------	---	--------------------------------

ムリモカ、ツトホサタ、モカテヨ、ユウマコ  
 スクベ、スクム、テシトキ、ユヘ、ヤヲタノ  
 テシ、ロ、ロ、ユ、ヤヲシ、ウ、マ、ヤヲ、タ  
 スク、ム、リ、ス、フ、ウ、ン、マ、チ、マ、コ、ン、エ、ビ  
 ゴ、ゴ、テ、シ、モ、カ、サ、ボ、ル、ミ、ヘ、ト、ナ、スク、コ、マ  
 テ、ウ、フ、ヤ、ヘ、タ、マ、コ、サ、ホ、ム、リ、ヘ、ブ、ク、ス  
 子、カ、モ、ト、タ、ノ、テ、シ、ル、ミ、ス、ウ、テ、シ、バ、テ、シ、バ、ダ  
 ヤ、マ、コ、ム、リ、マ、コ、リ、ム、テ、シ、ロ、モ、カ、ス、ツ、タ、リ、ハ  
 コ、ラ、レ、ロ、ア、ト、ナ、ヤ、ヨ、ユ、シ、ル、シ、ル、ニ、コ、ン、ン  
 ス、ロ、ア、ス、ヘ、イ、カ、モ、ン、カ、モ、ケ、ニ、シ、テ、シ、マ、コ

届  
前  
嶋  
少  
輔  
殿  
松田  
出  
宮  
城  
縣  
令

明治十年送達紙

技術	局	着	局	發	第	第	第	第
陸軍	三月三日	大藏省電信分局	三十八號	午九時五分	三十三號	三月三日	三十三號	三十三號

スベテ電信ヲ頼ミ出ルモノハ通信規則ノ通り心得ベキ事

イニヲサダヨセクコセ  
 ハンモンツウニロイ  
 モツワニトハノジト  
 ニツラムボノウノウ  
 シラゾサニウイタノ  
 ヒラクイジセクメケ  
 ララドウマニシイ  
 イシゴダニハモメケ  
 テアワラニトカエフ  
 ゴルウイハジイラコ

あつた物な  
 ちふ保

出

出

紙 達 送 年 右 明

技術 局	着 第	第	年	局	第	發	送り心得	
							ルモノハ通信規則	スベテ電信ヲ頼ミ出
五月五日	二ノハ	二ノハ	五月	五月			マ	マ
日	局	字	分	日	局	號	報	

セジホカウロ4ノツク  
 ノウウセグウカ4ヲヲ  
 ゴロクノンヒヨゾウヒ  
 ククセタナヨラク4キ  
 ヲニセタリウスアサ  
 ウクナカマノヒエマ  
 4=レイマヲヨラマダ  
 ゴハドハガアウニス  
 クタモソトヲ4ロソヲ  
 エカニサタジウニ)モ

エツカ

箱

出

スベテ電信ヲ頼ミ出ルモノハ通信規則通り心得ル事

明治 年 送 達 紙

技術	局	着	第	字	午	時	月	日	局	第	報	通	ル	ス
	三	月	三	日										

スベテ電信、類、出  
ルモノハ通信規則、  
通り心得べ、事

ホヒタクリリキクイカ  
ウタエシタマセゴソイ  
キリンシカウセウダ  
ウソバツセタゴニス  
セノクキタゴヒニヤ  
セノフエンゾゴク  
ヤカヨホクジウヲ  
リハゲウウヲニヨヒス  
カソヲムニヤイリクテ  
セウヲラゾブタゲニハ

其の三

出



紙達送年 治明

技術	局	着	第	義	午	第	局	年	月	時	分	日	局	號	報	スベテ電信ノ類ニ出ルモノハ通信規則ノ通り心得ベキ事

クリヨクヨフタヨシグ  
 4ジウハニセカニタニ  
 ツナミテリノヲルヲ  
 セイマンスフキヨモイ  
 2ウリカスビゴノサ  
 ヲイヲマツカカイイ  
 ハハサノニイイ4ニ  
 2ガエトタニグマク  
 フンレンスイハンニリ  
 ヲソサシジキイマノダ

其ノ記

出

紙 達 送 年 治 明

技術	局	着	第	第	局	午	時	月	第	局	第	紙	スベテ電信ヲ頼ミ出ルモノハ通信規則ノ通り心得ベキ事	
														字
	三	月	三	號	三	時	三	分	三	日	三	號	紙	

大藏省電信分局

第三十八號

三月三日

ア ス ミ フ 丑  
 シ ル ギ 五 ズ  
 ア カ ム ヘ  
 イ ク キ イ  
 ダ フ ノ キ  
 ゴ ケ ホ ク  
 ミ エ ウ ジ  
 コ 丑 午 ケ  
 ウ イ ア タ  
 午 ツ リ ル

五

出

出

特選 渥美

三月三日

大藏省電信分局

第十  
後一時  
五十一  
十三

仙臺七官

子キシテエハイデシ  
子キレセセテシヨユ  
ケニツスユヨシ  
シイハフウオホ  
エヨ子キハサボテシ  
子キモハケニセチ  
モカウ子キ又ツエヒ  
又クハ子キラヤ  
ゾ又ツムリ又  
シケニユヨ人

シンテン

前島内務少輔殿  
宮城縣  
宮城權令

スベテ電信ノ類ニ出ルモノハ通信規則ノ通り心得ベキ事

第 一 頁

第 一 號

仙臺

局 報

三月二六日

午年酉三月廿六

第 九 號

第 九 號

大藏省電信分局

三月二六日

着 局

技術屋美

届

大藏大輔

松方正義殿

内務少輔

前宮内院殿

出

仙臺 福田屋三郎

三島山形農令

サクツツツゴゴゴジベンダイヘ

キヤクス トキニ ヤマオタヨリ

ジユンサニマイ キタリツルカラ

カブジナリトツグ チンダイノ

ホリヲニ トウニ イヨイヨセイ

ヒツナリ セト キリコ ガンシンア

リタシ セツシヤギ タダマイマ

ホツツク ヤマカタニ キケンス

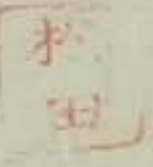
明治十年送達紙

スベテ電信ヲ頼ミ出ルモノハ通信規則ノ通り心得ベキ事

技術 陸軍少	局 着	局 發	第 一	第 二	第 三	第 四	第 五	第 六	第 七	第 八	第 九	第 十
	三月廿一日	大藏省電信分局	二六號	字	午十一時三十分	五月廿一日	局	報				

届

前島少輔



出  
古板

大藏省

コンジウヨツカゴゼンヨジジ  
 サヒヤクメイサンテニワカレ  
 コトコトクバツトウニテキリ  
 コミサンダイバラヌキトリ  
 リイサイハアトヨリト  
 タワラザオグチヨリホウチアリ  
 ミギカリフケソウタワス

明治 十年 送達 紙

技 術 手 り	局 著	第 十 七 號	第 十 七 號	午 十 時	第 一 號	第 一 號	第 一 號
		大藏省	大藏省				
		三月十七日					

スベテ電信ヲ頼ミ出  
ルモ大藏省通信規則ノ  
通ル心符ハ

届  
前島内務少輔殿

出  
山秋助  
船越權大書記官

テソボウ シヨウケ スデニ  
モヘンヤクハ ソレソレ サシイタ  
サスル ツモリニ アヒハコビヨル  
イサイハ ヲイヨイ

明治十年送達紙

スベテ電信ヲ頼ミ出ルモノハ通信規則ノ通り心得ベク事

技術 ヨリヨリ	局 着	第 八 號	第 一 號	午 三 月 九 日	午 三 月 九 日	第 一 號	第 一 號
				字	分	局	報

内務省

前島少輔

出

三島山形

マツダイラ シンクワイ サクヤ  
 ナヤクセリ キキコミノカド トリシ  
 ラブルニ トウニシニ ヲイテ フシ  
 ノコトナシ ヨウテ ウケシヨマテモ  
 サシイダシタリ モツトモ シンクワイ  
 ハココモトヘタイサイノ ツモリ  
 イサイノギハ ヒシンニテ モウス

コスゾヘレテシヌメヘヘテシト子ヤテエフ  
マツダイラシシクワイイシシナキラシヨウ  
キムナヘエヘエテモレゾハタテスマフ  
セリトイヨイヨシカラハツノジツコウ  
ヤエエフツミノワツゲシテエデタテフ子  
ヲヒヨウスルタナスベテシヨジノジウキ  
ヤホテバホテリミタホヌヤルテコナ子エ子口  
ヲサシダサシムルノサツヲミシマトキヨギア  
ムシヘモシ  
リテハイカン



明治七年送達紙

技術 海島	局	着	第 四 號	字 數 カ イ 六 字	毎 一 時 分	七 月 十四 日	第 五 振 七 號	カ イ 報	ス ベ テ 電 信 ヲ 頼 ミ 出 ル モ ノ ハ 通 信 規 則 ノ 通 リ 心 得 ベ キ 事

ド	ヤ	口	セ	ヨ	カ	ニ	シ	ウ	カ
モ	ヤ	シ	ツ	ニ	リ	ハ	ゴ	イ	ス
コ	コ	エ	ユ	ヨ	ヲ	フ	ナ	ケ	ガ
ン	レ	ワ	ニ	ビ	ケ	フ	ラ	ニ	イ
ニ	ニ	ト	ヲ	タ	イ	ク	ジ	ケ	ケ
ケ	ナ	ウ	ヨ	シ	サ	ム	ユ	ヨ	シ
コ	ク	ノ	ビ	コ	ツ	ラ	ウ	ジ	ノ
テ	シ	モ	シ	レ	ブ	ヨ	ニ	ヤ	ギ
ナ	タ	ノ	ト	コ	レ	ウ	ニ	ウ	ジ
ス	レ	ハ	コ	ン	シ	カ	ケ	シ	ユ

届  
タイムキヨウ  
ケソカイセイ  
ジムソウサイ

出  
アイチ  
ケレ  
イ

Large empty rectangular area with vertical red lines, likely a placeholder for a message or a large stamp.

明治 年 送 達 紙

技術	局	着	第	字	午	時	月	第	報	スベテ電信ヲ頼ミ出 ルモノハ通信規則ノ 通り心得ベキ事

内務省電信分局

ソノトノノセルトツル  
 カンバケニツソルモ  
 ミタニハツスヨトヨ  
 ナンヲモキノミウゲ  
 ノラテシモリモタ  
 ズクエソアゾムモド  
 ヤエクゲイキウタ  
 ウニジカテトク  
 ヒコヲ子コイモウテ

其 二

届

出

明治 年 送 達 紙

技術	局	着	第	字	午	時	月	第	報	スベテ電信ヲ頼ミ出届 ルモノハ通信規則ノ 通り心得ベキ事

内務省電信分局

ガクニソコクノジヲイ  
 キイカノレワヲツコタ  
 ニナレジア一ヒタタサ  
 コリラユリタトケエセ  
 シヤコヲトルツヤタモ  
 ラシタタリムガリリウ  
 一ハ一タアラ子テカサ  
 キノテシゲカニイツズ  
 フタイタヲタシノゼム  
 スマワルキモタモシ

具  
三

出

明治 年 送 達 紙

技術	着局			発局			スベテ電信ヲ頼ニ出ルモノハ通信規則ノ通り心得ベキ事
	第	字	午	第	字	分	
	月		時	月		分	届
	日	局	日	分局	報	報	

内務省電信分局

ル  
ツ  
モ  
リ  
ニ  
テ  
イ  
ツ  
ホ  
ニ

ゴ  
ト  
ニ  
シ  
ノ  
キ  
フ  
ニ  
ツ  
ッ  
ホ  
ニ

ナ  
ヲ  
シ  
ル  
シ  
ヒ  
ツ  
ツ  
ツ  
ツ  
ツ  
ツ  
ツ  
ツ

ニ  
コ  
イ  
シ  
ム  
キ  
ト  
ン  
モ  
カ  
ノ

ヒ  
ラ  
キ  
レ  
タ  
ル  
キ  
セ  
ム  
ヨ  
モ  
ウ  
テ

ナ  
ヲ  
ア  
キ  
ル  
ア  
シ  
ル  
子  
ヲ  
ウ  
ク  
テ

ワ  
ヲ  
ア  
キ  
ル  
ア  
シ  
ル  
子  
ヲ  
ウ  
ク  
テ

人  
ヲ  
ア  
キ  
ル  
ア  
シ  
ル  
子  
ヲ  
ウ  
ク  
テ

ビ  
ホ  
カ  
イ  
ナ  
ニ  
レ  
ハ  
ガ  
ク

其

四

出

明治 年 送 達 紙

技術	局 着		局 發		スベテ電信ヲ頼ミ出 ルモノハ通信規則ノ 通り心得ベキ事
	第 局	第 局	第 局	第 局	
	月	日	時	分	日

内務省電信分局

ジツ、ガ、イ、エ、ハ、ケ、ガ  
 ツ、ガ、イ、エ、ハ、ケ、ガ  
 ゴ、ガ、イ、エ、ハ、ケ、ガ  
 ト、ガ、イ、エ、ハ、ケ、ガ  
 ケ、ガ、イ、エ、ハ、ケ、ガ  
 ケ、ガ、イ、エ、ハ、ケ、ガ  
 ヨ、ガ、イ、エ、ハ、ケ、ガ  
 ヨ、ガ、イ、エ、ハ、ケ、ガ

其 五

出

終

明治十一年送達紙

技術	局	著	第	字	十二月十二日	第	局	發	第	字	通	ル	モ	ノ	ハ	通	信	規	則	ノ	通	リ	心	得	ベ	キ	事
					午																						

スベテ電信ヲ頼ミ出  
ルモノハ通信規則ノ  
通り心得ベキ事

届  
 終、視、石  
 女、孫、終、視  
 昨夜我孫宿に五松人  
 集り供在語ルヲ聞クニ  
 押し通す物ヒリ見セ小官等  
 終馬カス策ナリ打、早鐘ヲ突  
 キ、トキヲ揚ケ竹鏡ヲ数本束子  
 テ此香、見、附、物、所、出、し、至、  
 等、し、虚、勢、ヲ、張、り、農、業、ヲ  
 入、ル、者、博、ニ、動、し、実、ニ、悞、也

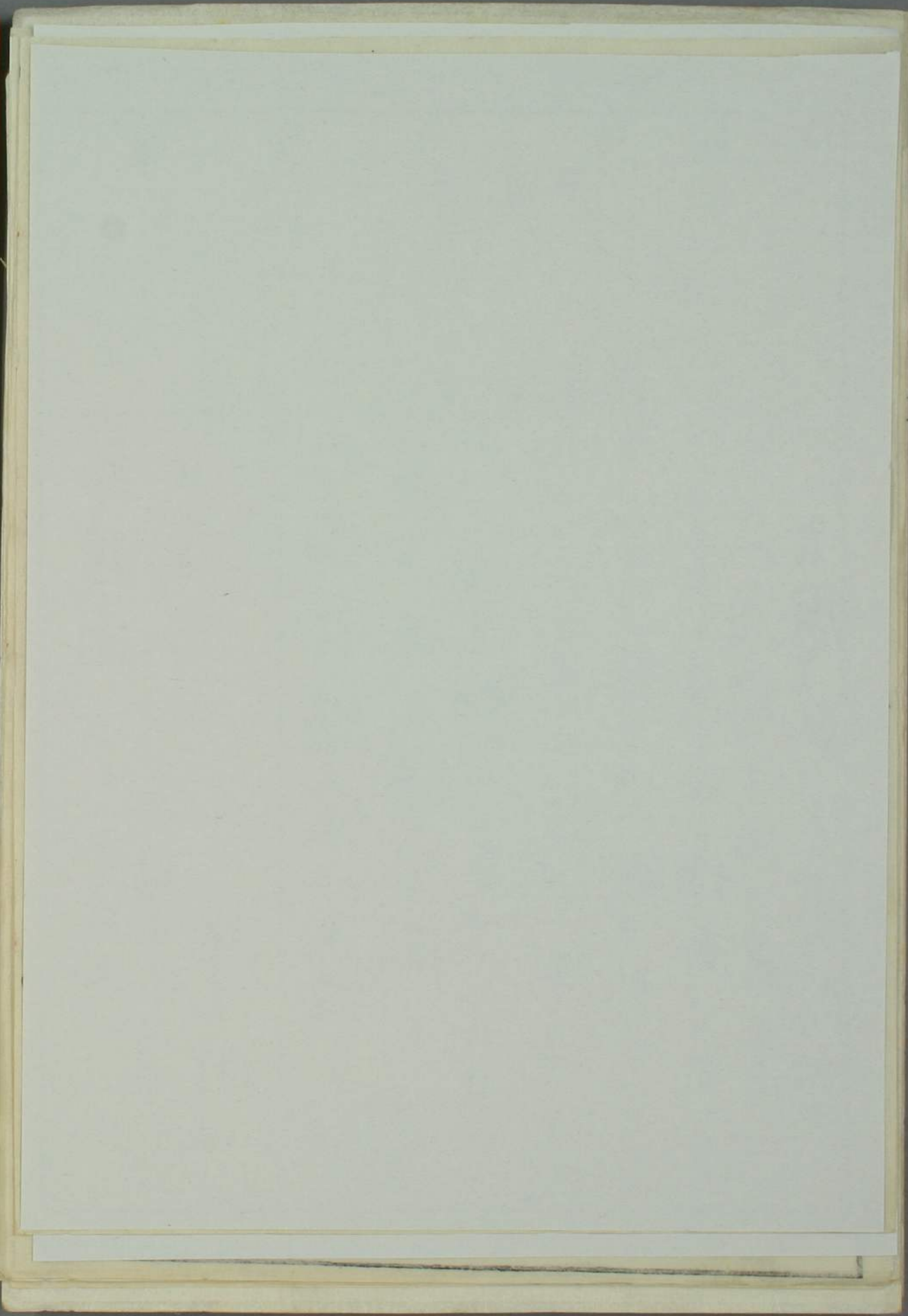
出  
 勝川公異  
 中川

明治十一年送達紙

技術 七 月 九 日	局 着	第 四 號	字 數 百 四 十 九 字	午前	七	川	第 四 十 八 號	局 發	通 ル ス ベ テ 電 信 ヲ 賴 ミ 出 ル モ ノ ハ 通 信 規 則 ノ 通 リ 心 得 ベ キ 事
				十時	月	口			

カニ又イロトムシツジ  
 フテヨロニカアケミヨロムシツス  
 エウレツスル又カニロタナルヒ  
 ヲニミツネエユルルムシロクミツ  
 ミウアケイレハヨフテハスゴ  
 ツハイルムシウリムシフイウ  
 ノロタトハヨクニカリシカニカ  
 エユツンモミツモミツモミツムシ  
 ルトフテロタムシノ又イトルヨ又  
 アイアケニエムヨハヨアケアケ

東京  
 内務卿  
 大坂府  
 知事



明治 年 送 達 紙

技術	局 着		局 發		第 報	スベテ電信ヲ頼ミ出 ルモノハ通信規則ノ 通り心得ベキ事
	月 日	第 號	午 時 分	月 日 分 局		

大藏省分局

ムシモル  
 正カニ  
 スズ  
 シヤ  
 スズ  
 マシ  
 ヤア  
 ケア  
 川  
 ボコ

二

届

出



明治 年 送 達 紙

技術 海軍	局 三月十日	着 第 内務省電信分局 ハ	第 三 三 月 十 日	局 三月十日	發 報 三 月 十 日	静 子 七	ル ス ベ テ 電 信 ヲ 頼 ル モ ハ 通 信 規 則 ノ 通 リ 心 得 ベ キ 事
----------	-----------	------------------------	----------------------------	-----------	----------------------------	-------------	---

スル。カガ。カイ。ソ。ヨウ。サ  
 カ。カ。イ。ソ。ヨウ。サ  
 カ。カ。イ。ソ。ヨウ。サ  
 カ。カ。イ。ソ。ヨウ。サ  
 カ。カ。イ。ソ。ヨウ。サ  
 カ。カ。イ。ソ。ヨウ。サ  
 カ。カ。イ。ソ。ヨウ。サ  
 カ。カ。イ。ソ。ヨウ。サ  
 カ。カ。イ。ソ。ヨウ。サ  
 カ。カ。イ。ソ。ヨウ。サ  
 カ。カ。イ。ソ。ヨウ。サ

局  
七  
子  
不  
也  
但  
改  
止  
務  
由  
島  
三  
等  
出  
仕

出  
大  
迫  
静  
子  
令



明 治 年 送 達 紙

技術	局 着		局 發				第 報	スベテ電信ヲ頼ミ出ルモノハ通信規則ノ通り心得ヘキ事
	月	日	第 號	字	分	時		
内務省電信分局								

ハ。ヨ。ウ。ニ。フ。ク。ト。  
 フ。ヨ。ウ。ニ。フ。ク。ト。  
 イ。シ。ル。ニ。ハ。ア。ラ。サ。レ。ト。  
 イ。シ。ル。ニ。ハ。ア。ラ。サ。レ。ト。  
 ヲ。ク。ニ。ス。ル。ニ。イ。タ。ラ。ズ。  
 ヲ。ク。ニ。ス。ル。ニ。イ。タ。ラ。ズ。

其  
ニ

新

